

第15回京丹後商工祭におけるデジタルポイント利用促進に係る取組実績

令和5年10月22日（日）に開催された第15回京丹後商工祭における京丹後デジタルポイントの利用促進の取り組みについて、下記のとおり報告します。

記

- 1 取組概要 商工祭に出店する飲食、展示販売事業者において、タブレット端末を導入しイベント会場での取引に利用いただくことで、デジタルポイントの利用促進を図った。
- 2 導入店舗 52店舗のうち、40店舗
※実際に取引があった店舗は37店舗
- 3 売上金額 471,980円
うち、現金 120,292円
うち、交換ポイント 3,512P
うち、プリカ利用 77,102円
うち、買物支援ポイント 271,074円
- 4 発行ポイント 3,356P
- 5 現金チャージ 167,000円
- 6 効果等
 - ① 飲食や展示販売を行う全事業者において、デジタルポイント専用端末を導入できた。
 - ② 当日は多くの現金チャージ、買物支援ポイントの利用があり、キャッシュレス決済の推進につながった。
 - ③ 事象者向け説明会や当日の端末利用を受け、加盟登録の申出が2件あり、加盟店確保に貢献した。
- 7 反省点
 - ① ポイント発行の負担をデジタルポイント運営協議会とするか、イベント主催者とするかが調整不足だった。
 - ② 出店事業者への説明不足、当日の操作フォロー不足により、出店事業者での操作ミスが複数店舗で発生し、イベント終了後の精算処理が煩雑となった。
- 8 今後の展開について
 - ①ポイント発行の費用負担者を明確にし、②出店事業者への説明と当日の操作フォローを確実にすることで、他のイベントでも応用が可能であるため、市内各種イベントにおいて継続して利用を図ることとする。

デジタルポイント協議会ブースの様子



出店事業者の様子

